

# 講座だより

第1号  
8月発行

7月13日(土)に浜松市にある「静岡県立森林公園 森の家」にて体験コースを開催しました。講師として(公財)キープ協会環境教育事業部主任の坂川実基氏にお越しいただき、実際に森の中でプログラムを実施していただきました。すでに環境教育に取り組んでいる方から全くの未経験の方まで、14名にご参加いただきました。



【講師の坂川実基氏】



【森のガイドウォークの様子】

午前中は、講師の坂川氏によるプログラムから始まりました。参加者が打ち解け合うようアイスブレイクゲームを行い、その後、森のガイドウォークを行いました。森の中を歩きながら、日本人と自然との文化的な関わりや動物の痕跡、生き物同士のつながりなどの解説に加え、参加者の好奇心を刺激するために小道具を利用したり、生物の標本や剥製を利用したりと、様々な手法を用いることで、参加者も釘付けでした。



【森を目で味わうゲームの様子】



【プログラムの振り返りの時間】

続いて、参加者同士でグループを作り、自然素材を利用してアート作品を作成するゲームなどを実施し、環境教育の手法の多様性を感じていただきました。午後は室内で午前中に体験したプログラムの意図を紐解く時間でした。プログラムについての参加者からの意見を交えながら、言葉選びや解説する内容を選んだ理由、準備にかけた時間などをご説明いただきました。その後スライドを利用して、森林環境教育の多様性についてご紹介いただきました。

《発行元》

静岡県くらし・環境部環境局環境ふれあい課

電話:054-221-2849 Eメール: fureai@pref.shizuoka.lg.jp